

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								2.7
Q1 室内環境			0.40					2.8
1 音環境		3.0	0.15	2.7	1.00			2.9
1.1 騒音		3.0	0.40	3.0	0.40			
1 室内騒音レベル		3.0	1.00	3.0	1.00			
2 設備騒音対策		-	-	-	-			
1.2 遮音		3.2	0.40	3.3	0.40			
1 開口部遮音性能	遮音等級 T-2以上(T-3)を使用	5.0	0.40	5.0	0.30			
2 界壁遮音性能		2.0	0.60	2.0	0.30			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	0.20			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	0.20			
1.3 吸音		3.0	0.20	1.0	0.20			
2 温熱環境		2.6	0.35	1.7	1.00			2.4
2.1 室温制御		3.5	0.50	2.5	0.50			
1 室温		3.0	0.38	3.0	0.57			
2 負荷変動・追従制御性		-	-	-	-			
3 外皮性能		2.0	0.25	2.0	0.43			
4 ゾーン別制御性	概ね40m <sup>2</sup> 以下のゾーン分けができており、ゾーン別に制御可能	5.0	0.38	-	-			
5 温度・湿度制御		-	-	-	-			
6 個別制御		-	-	-	-			
7 時間外空調に対する配慮		-	-	-	-			
8 監視システム		-	-	-	-			
2.2 湿度制御		3.0	0.20	1.0	0.20			
2.3 空調方式		1.0	0.30	1.0	0.30			
3 光・視環境		2.5	0.25	4.1	1.00			2.9
3.1 昼光利用		2.6	0.30	4.2	0.30			
1 昼光率	居室昼光率:5.1%	1.0	0.60	5.0	0.60			
2 方位別開口		-	-	3.0	-			
3 昼光利用設備	1階までの吹抜け空間設置	5.0	0.40	3.0	0.40			
3.2 グレア対策		3.0	0.30	4.0	0.30			
1 照明器具のグレア		-	-	-	-			
2 昼光制御	庇とカーテンによりグレアを制御	3.0	1.00	4.0	1.00			
3 映り込み対策		-	-	-	-			
3.3 照度		1.0	0.15	3.0	0.15			
3.4 照明制御	個室によりベッド単位の制御可能	3.0	0.25	5.0	0.25			
4 空気質環境		3.1	0.25	3.8	1.00			3.3
4.1 発生源対策		4.0	0.50	4.0	0.63			
1 化学汚染物質	全面的にF を使用	4.0	1.00	4.0	1.00			
2 アスベスト対策		-	-	-	-			
3 ダニ・カビ等		-	-	-	-			
4 レジオネラ対策		-	-	-	-			
4.2 換気		3.0	0.30	3.6	0.38			
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33			
2 自然換気性能	自然換気有効開口面積が、居室面積の1/10以上あり	3.0	-	5.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33			
4 給気計画		-	-	-	-			
4.3 運用管理		1.0	0.20	-	-			
1 CO <sub>2</sub> の監視		3.0	-	-	-			
2 喫煙の制御		1.0	1.00	-	-			
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-			3.1
1 機能性		3.4	0.40	4.2	1.00			3.6
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	5.0	0.60			
1 広さ・収納性	12m <sup>2</sup> 以上の個室を確保	3.0	-	5.0	1.00			
2 高度情報通信設備対応		3.0	-	3.0	-			
3 バリアフリー計画		3.0	1.00	-	-			
1.2 心理性・快適性		3.0	0.30	3.0	0.40			
1 広さ感・景観		3.0	-	3.0	0.50			
2 リフレッシュスペース		3.0	-	-	-			
3 内装計画		3.0	1.00	3.0	0.50			
1.3 維持管理		4.5	0.30	-	-			
1 維持管理に配慮した設計	外壁タイルに光触媒コーティングを施す	4.0	0.50	-	-			
2 維持管理用機能の確保	汚物処理室を各階に配置し、清掃のし易さに配慮している	5.0	0.50	-	-			
3 衛生管理業務		-	-	-	-			
2 耐用性・信頼性		3.0	0.31	-	-			3.0
2.1 耐震・免震		3.0	0.48	-	-			
1 耐震性		3.0	0.80	-	-			
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.33	-	-			
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.23	-	-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.23	-	-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.09	-	-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08	-	-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.15	-	-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23	-	-			

2.4 信頼性	1 空調・換気設備		3.4	0.19	-	-	
	2 給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	
	3 電気設備		3.0	0.20	-	-	
	4 機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
	5 通信・情報設備	TEL、光回線引き込み、浸水の恐れのある場所への機器設置なし		5.0	0.20	-	-
<b>3 対応性・更新性</b>			<b>2.7</b>	<b>0.29</b>	<b>2.4</b>	1.00	<b>2.6</b>
3.1 空間のゆとり	1 階高のゆとり		2.2	0.31	1.8	0.50	
	2 空間の形状・自由さ	共用部分の壁長さ比率が0.23	1.0	0.60	1.0	0.60	
			4.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.0	0.38	-	-	
	1 空調配管の更新性		3.0	0.17	-	-	
	2 給排水管の更新性		3.0	0.17	-	-	
	3 電気配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
	4 通信配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
	5 設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-	
	6 バックアップスペース		3.0	0.22	-	-	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>			<b>-</b>	<b>0.30</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>2.3</b>
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			2.0	0.40	-	-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>			<b>-</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>3.1</b>
<b>LR1 エネルギー</b>			<b>-</b>	<b>0.40</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>3.0</b>
1 建物の熱負荷抑制			2.0	0.30	-	-	2.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.20	-	-	3.0
	2.1 自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50	-	-	
	2.2 自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化			4.3	0.30	-	-	4.3
	集合住宅以外の評価 (ERRによる評価)	ERR=22.5%	4.0	-	-	-	
	集合住宅の評価		3.0	-	-	-	
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
	4.1 モニタリング		3.0	0.50	-	-	
	4.2 運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>			<b>-</b>	<b>0.30</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>3.1</b>
1 水資源保護			3.4	0.15	-	-	3.4
	1.1 節水	過半に定流量弁付水洗、節水型洋風便器を採用	4.0	0.40	-	-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
	1 雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67	-	-	
	2 雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.33	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.1	0.63	-	-	3.1
	2.1 材料使用量の削減		2.0	0.07	-	-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24	-	-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	
	2.4 非構造材料におけるリサイクル材の使用	ウッドデッキ ABC商会 アースデッキ	3.0	0.20	-	-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.05	-	-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	内装材は軽鉄下地とGL工法を使用	4.0	0.24	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.22	-	-	3.0
	3.1 有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.32	-	-	
	3.2 フロン・ハロンの回避		3.0	0.68	-	-	
	1 消火剤		-	-	-	-	
	2 発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-	
	3 冷媒		3.0	0.50	-	-	
<b>LR3 敷地外環境</b>			<b>-</b>	<b>0.30</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>3.2</b>
1 地球温暖化への配慮			3.6	0.33	-	-	3.6
2 地域環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
	2.1 大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	
	2.2 温熱環境悪化の改善		3.0	0.50	-	-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
	1 雨水排水負荷低減	雨水を貯留、浸透処理する	4.0	0.25	-	-	
	2 汚水処理負荷抑制	合併浄化槽処理水を貯留、浸透処理する	4.0	0.25	-	-	
	3 交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
	4 廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
	1 騒音		3.0	1.00	-	-	
	2 振動		-	-	-	-	
	3 悪臭		-	-	-	-	
	3.2 風害・砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40	-	-	
	1 風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
	2 砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
	3 日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
	3.3 光害の抑制		3.0	0.20	-	-	
	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-	
	2 壁光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	